

家具の転倒・落下防止

激しい揺れで、家具や家電が凶器になることがあります。

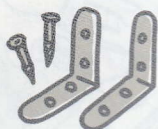
阪神・淡路大震災では、住宅内部の被害が多く、怪我の原因の46%は「家具の転倒・落下」でした。ガラスによるものを含めると、およそ80%の人が怪我をしました。

普段からの対策が効果あり！（被害数値は総務省消防庁 HP 参照）

〈固定方法〉

器具を使って家具を固定 ※壁に穴をあけるのが難しい場合は、複数を組み合わせる

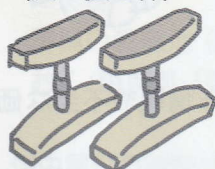
① L型金具



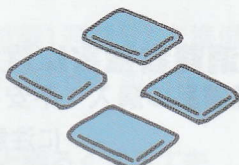
② ベルト式器具



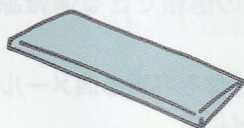
③ ポール式器具 (突っ張り棒)



④ 耐震マット 電子レンジなどに



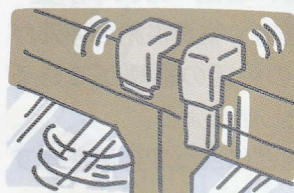
⑤ ストッパー



⑥ 連結固定式器具 上下が分離している家具に



⑦ 飛び出し防止器具 引き出しや扉が ついている家具に



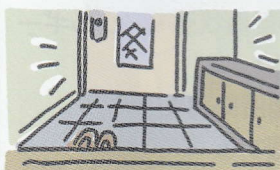
⑧ 落下防止テープ 扉のない本棚に



〈家具の位置を変える〉



寝ているところに家具が倒れてこないようにする



部屋の出入り口付近や火気周辺に家具を置かない

〈並べ方、積み方の工夫〉

本棚：落下防止器具の設置（落下抑制テープ）

本の並べ方を工夫する

食器棚：皿の積み方を工夫する



窓・食器棚などの
ガラス飛散防止：
飛散防止フィルム
を貼る



〈その他〉

ベランダや庭の植木鉢などは、窓の近くに無造作に置かない

